

それから友人宅で無印のカオマンガイキットでごはんを作ってダラダラとたべる。イケガミさんもきて、くだらない妄想でもりあがる。楽しいきぶんで歩いて帰宅。なんだか明日からのやりたいことがちよつとずつ、見えてきた、かも。

■四月十八日■

はれ。あつたかい。
KUが早速帰ってくるので洗濯や掃除など済ませる。
ごはんも家でさつと作って済ます。若干作りすぎて満腹。ベランダで一服して西海岸行くかーと思つたけどあつたかいし、と思つて近所のあの公園に行つて一服することにした。
行つてみたらおじさんが居て、どうやら草木の手入れをしてるようだった。近くのベンチに行つたら挨拶してくれたので挨拶しかえした。早速タバコに火を着けると、おじさんに「今日はあつたかいねえ。ぼくは町内会で頼まれて午前中から伸びすぎた雑草を刈つたり手入れをしててね。誰もやる人がおらんからね。ここの桜はすばらしくきれいなんだけど、鶯が絡まりすぎて枯れそうなんよ。だから切つて手入れしてあげないとね。」と声をかけられた。わたしも何度も桜をみに来たので実感を

持つて、なるほどと思いつつ、ありがたいなあと思つた。それから、ここまで猪が降りてきてることもその足跡を見せて教えてくれた。住んでるマンションの裏の山からここまで来てるんだ。はじめて知つた。
「ここの地区には子どもが少ないから砂場や滑り台の周りも雑草だらけ。でもここは海峡もみえるし、風は通るしい公園でしょう。ぜひあなたも使つてやつてくださいね。」
なんだかタバコを吸いにきただけなのに、こんな言葉がきけて得しちゃつたな。こういう人が、人知れずに誰かのためにやつてる行為が、この公園の秩序をなんとか保つてくれてたんだな。大袈裟に言えば、世界の中にある平和もこうやつて、なんとか保たれてるんじゃないか。わたしもそういう気持ちをもつて服を作つて行くしかないなあ、なんてぼんやり考える。
とても気分がよかつたのですぐに近所の友人たちに「こんど近所のいい公園でピクニックでもしようよ。」と誘いの連絡をした。
夜、KUと小倉で待ち合わせてごはん、はじめてのバーでおいしいお酒をのんだ。

■四月十九日■

昨日KUに公園の話しをしたらなんだかえらく感銘？してくれたようで、一緒に行つて、ここでおじさんと会つて、ここに猪の足跡があつて、と回想した。
作業場でデニムのリメイクをはじめた。これはかわいくなるな！。

■四月二十日■

歯医者。健診。ちよつと欠けてた奥歯を削ってもらう。
毎月でモダン焼き大を買う。西海岸でデニムの作業。以外と早く終わつて、完成した。かわゆい！。こんなにかわいくて大丈夫かなあ！なんて思うほどかわいい！。自分で履きたいわ。

■四月二十六日■

友人に誘われて庭師さんの手伝いのバイトに。下関の御宅。やることといえば枯れ葉を集めたり刈られた枝を集めたり雑草を抜いたり。久しぶりの肉体労働でなんだかおもしろかつたな。風に吹かれながらのしごとつて気持ちいい。
終わつてから食事に。庭師さんのはなしおもしろかつたな。特に「人は植物にとつていちばんの家畜」というのは印象的だつたな。確かにそう

かも。やつてんのか、やらされてんのか、わからないよな。
歯医者に電話したかつたけど今日は定休日だつた。
帰宅するとKUも帰つてきていた。

■四月二十八日■

朝から歯医者。急に奥歯の治療されたところがボロンとなくなつて（たぶん飲み込んだ）しみて痛かつた。また埋めてもらった。
パン買って家に帰る。残つてたチリコンカンとパンで食べる。
飛行機手配したりなんたり。試作のつづきしたり。
サワに誕生日メッセージ送つたり。
夜は松井さん。

四月

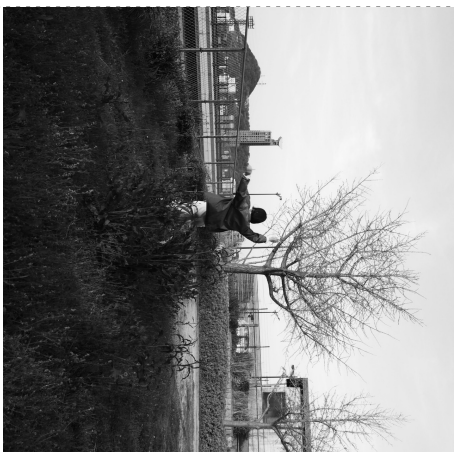
■四月一日■

近所の小さな公園に一服しに行く。昨日も来たけど、今日のほうが桜の花吹雪が散つている。しばらくするとお母さんと子ども3人が来て、「おし雪が降つてるみたい！」と走り出し、被つていた帽子を逆さにして花びらを集めた。ぼーつとその姿と声を耳にしていたけど、なんだか胸にうつつときて、ちよつと涙しそうになつた。4月か！、これからどうしようかな。
お昼ごろ打ち合わせ。楽しみなことが増えた！
久しぶりにとらやのラーメンを食べる。やつぱりしみじみおいしい。
ご夫婦の腰が更に曲がつた気がする。
夜はさつと外ですませて、スーパに寄つて帰る。タクシが無くてもアイスを食べながら歩いて帰る。近所の公園に桜を見に二人で立ち寄る。

■四月二日■

お花見終わりの家族たちとすれ違ふ。「あの人たち、なんやんなんやんなんや」と言つてたけど、きつとわたし達のほうが「なんやんなんや」と思われてたと思うよ。
はれ。
■四月三日■
KUが弟さんの法事で伊豆まで向かう。久しぶりに6時台に起きて家で見送る。二度寝する。栃木の友人から楽しそうな報告を受けてうれしくなる。また一人で公園に行つて一服する。ふと、「この姿つて、小さい頃見てた公園にいた不思議なおじさんみたいだ」と思つた。キャッツプにサンクスもかけて怪しき十分。
作業場で作業。去年門司港に引つ越してきた友人と待ち合わせして、近くの行つたことないところ巡りする。三井倶楽部から、四橋へ。また作業場に戻ると、マナさんがマレーブを取りにちよどくる。
マナさんのめっちゃかっこいいフランスの高級車に乗せてもらつてちよつとだけドライブ。いつもの景色がなんだか変わつてみえるのはなんだろう。うひゃー！と気持ちが高揚するこの感じはめっちゃくちゃマッシュンなあと思つた。

Dianists 2023
[April]



山本千聖



山本千聖
（服をつくつてるひと）

発行
Orcinus Orca Press
Instagram: @orcinusetcapress
Twitter: @Kanko_1852